

職場環境要件

職場環境要件項目 取り組み内容

<p>入職促進に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築 ・職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実地 	<ul style="list-style-type: none"> ・求人検索エンジンでの幅広い求人掲載 ・地域の小学校や中学校との連携、行事参加
<p>資質の向上やキャリアアップに向けた支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する各国家試験の生涯研修制度、さーび管理責任者研修、喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修の業務関連専門技術研修の受講支援等 ・エルダー・メンター制度導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得を目指す職員向けに一定の補助制度 ・エルダーが1対1でOJTと精神的なサポートを行う制度
<p>両立支援・多様な働き方の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の事情等の状況に応じたシフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度の整備 ・有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的確認し、身近な上司等からの積極的な声かけ等に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務表作成前に職員に対する希望休の確認 ・非正規職員から正規職員への転換に実績あり ・有給休暇を取得しやすいように人材の確保

両立支援・多様な働き方の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制度により、業務属人化の解消、業務配分の偏りの解消に取り組んでいる ・障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害を有する職員には勤務シフトの配慮を行っている
腰痛を含む心身の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の整備を行っている ・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・短時間労働者を含むすべての従業員に希望者には1年に1回の健康診断受診の補助を行っている ・各種マニュアルの整備
生産性向上のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の課題見える化等の実践による職場環境の整備を行っている ・5S活動等の実践による職場環境の整備を行っている ・業務手順書の作成や記録、報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている ・業務支援ソフト、情報端末の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回会議で気になる問題の課題を出し、なぜなぜ分析を行い、業務時間調査を実施 ・担当を決め職場環境の整備を行っている ・業務携帯一斉連絡等で情報共有をしている ・支援ソフトやパソコン・iPadを導入している
やりがい・働きがいの構成	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉、介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善 ・支援の好事例や利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回職員会議を実施、その際職員同が親睦を深めるためにランチミーティング実施 ・利用者の好事例は保護者にLINEやメールで伝えている